

校長通信

令和6年度18号 令和7年3月13日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

《3年生が巣立って行きました！》

3月7日（金）本校体育館にて、第78回卒業証書授与式を行い、132名の卒業生が巣立って行きました。卒業生入場で、吹奏楽部の演奏する「祝典行進曲」に合わせて卒業生が颯爽と入場して来る姿は、堂々としていてとても立派でした。



在校生代表の送辞では、体育大会や文化祭に全力で取り組む3年生の姿がとても印象的だったこと、生徒会活動を先輩と一緒に取り組み、学んだことなどにふれながら、卒業を祝う言葉を述べていました。

卒業生代表の答辞では、授業で楽しく学べたこと、協力することの大切さを学んだ部活動のこと、学年を越えた絆を深めることができた体育大会のこと、最も忘れられない思い出となった修学旅行のことなどについて述べていました。私がよく口にしていた「残心」という言葉もなじみ深い言葉となり、この「残心」の精神を忘れず、今後も歩いていくと述べてくれました。そして最後に身近なところで支えてくれた家族への感謝を述べて、締めくくりました。すばらしい答辞でした。

在校生の合唱曲「花は咲く」、卒業生の合唱曲「正解」も心がこもった、すばらしい歌声でした。そして最後の歌「群青」は、全校生徒による美しいハーモニーが、力強く体育館内に響き渡り、感動の渦に巻き込まれました。本当に感動的な卒業式でした。卒業生の前途に幸多かれと祈るとともに、来年度の新入生とともに在校生が更に素晴らしい河北中学校となるよう、伝統を引継ぎ、健闘してくれることを願ってやみません。

《先輩方からうれしい報告！》

ここ最近、3年前に本校を卒業した先輩たちが、「進学が決まりました！」とか、「就職が決まりました！」と河北中学校に報告に来てくれています。うれしい知らせです。それぞれ高校の3年間で様々な事を学んだことと思います。大人になって立派になった姿を見て、感慨深い気持ちになれるのも教員の特権だと思います。ありがたいことです。

大学や専門学校で更に学問を深める先輩も、社会に出て活躍される先輩も、健康に留意してがんばってほしいと思います。